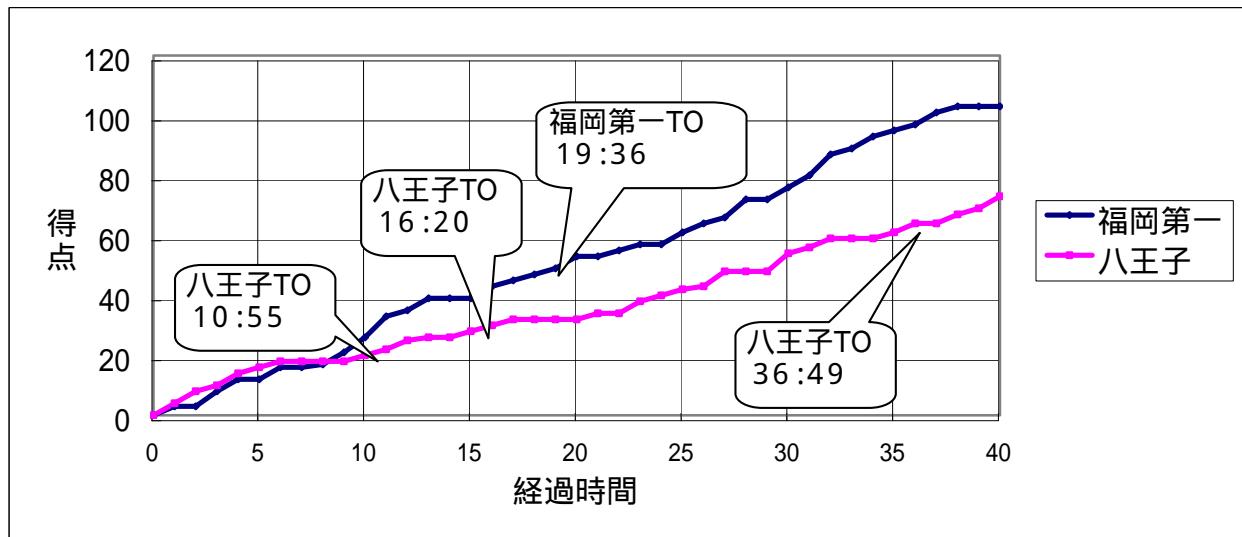


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	G2	11:40	男子 2回戦
期日	2007年(平成19年)7月30日(月)	福岡第一	103 福岡	26 - 20 27 - 12 23 - 22 27 - 19
会場	唐津工業高等学校	73 東京		八王子

主審 佐藤誠 副審 加川真



福岡第一

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	大谷 拓也	15	3	3	0	0
5	花野 友昭	4	0	2	0	0
6	狩野 祐介	8	2	1	0	1
7	中村 圭秀	2	0	1	0	0
8	玉井 勇気	5	1	1	0	1
9	増子 良平	2	0	1	0	1
10	セックエルバジ イブ ナマ	18	0	9	0	1
11	早川 ジミー	19	0	9	1	2
12	熊 吉	14	0	6	2	0
13	園 幸樹	2	0	1	0	0
14	並里 成	14	1	4	3	2
15	和田 直樹	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	井手口 孝					
	合計	103	7	38	6	

八王子

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	平塚 雷太	2	0	0	2	0
5	鈴木 喜暁	14	2	4	0	2
6	五百部 浩志	0	0	0	0	0
7	エバジ ゴーリー ハドウ	19	0	8	3	5
8	中島 一海	10	0	4	2	0
9	橋本 貴智	3	1	0	0	0
10	岡部 燿	6	0	3	0	1
11	板垣 祐輔	13	3	2	0	1
12	小宮山 怜宇	3	0	1	1	2
13	東城 皓太	0	0	0	0	0
14	岩崎 大樹	3	0	1	1	0
15	檜原 慶温	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	石川 淳一					
	合計	73	6	23	9	

はスター (はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファoul

戦評

大本命の呼び声が高い福岡第一の注目の初戦は、関東大会準優勝の八王子。接戦が予想されたが、流れを確実に引き込んだ福岡第一が103対73で八王子を退けた。両者マンツーマンで始まった第1P。いきなり八王子#7ワドウが大爆発。制空権を制し得点にアシストにと大活躍を見せる。福岡第一は我慢の展開。ゲームが動いたのは残り2分、福岡第一#11早川が力強いドリブルから積極的に仕掛け、八王子#7ワドウから2回目のファoulを獲得。続いて、福岡第一#14並里が、速攻から身長差をものとせずワドウに仕掛け、バスケットボールカウント。終了間際にも3Pを決め、ゲーム運びのうまさを見せる。(26対20) 第2Pが始まった最初のプレイ。福岡第一#12熊の力強いステップシュートで八王子#7ワドウが痛恨の4つ目のファoul。ワドウの交代で、制空権は途中出場の福岡第一#10イブラヒマが握り、リバウンドシュートを確実に決めていく。14得点のイブラヒマの活躍で、53対32と福岡第一リードを広げ、前半が終了した。後がない八王子は、第3P#7ワドウを強行出場。ポストからの確実なシュートとオフェンスリバウンドからの2本のダンクシュートで、反撃の狼煙を上げる。お互い譲らない展開となった、残り2分。果敢にオフェンスリバウンドに飛び込んだ福岡第一#14並里に、八王子#7ワドウが5つ目のファoul。試合の趨勢は福岡第一のものとなる。76対54と福岡第一リードのまま第4Pへ。第4P何とか流れを変えたい八王子は、ディフェンスを2-3ゾーンに替えるが、その隙間を福岡第一#14並里の鋭いバスが切り裂く。福岡第一#11早川・#4大谷が得点を重ね、差は開くばかり。残り6分には主力全員を休ませる余裕を見せ、福岡第一が完勝した。高い攻撃力を有していただけに、ワドウのファoulトラブルがなんとも悔やまれる一戦であった。

記載者 斎田 尚敏 (所属) 佐賀県バスケットボール協会